2025年度 大阪公立大学

女性研究者表彰制度［岡村賞］ 応募用紙

1. **応募者**

|  |  |
| --- | --- |
| 応募する賞  ※いずれかを選択 | ☐大学院生奨励賞　　　　☐奨励賞　　　　☐特別賞 |
| 氏名（ふりがな） | （　　　　　　　　　　　　　　） |
| 所属部局  （研究科等） |  |
| 職名・学年 |  |
| 連絡先E-mail |  |
| 所属キャンパス |  |
| 電話番号  ※日中に連絡可能な番号 | 内線（　　　　　　　）  □外線（固定電話）または　□携帯電話　（　　　　）　　　　－ |
| 経　歴 | *※斜体は提出時に削除してください。*  *・年は西暦で記載してください。*  *・各自の経歴に応じて項目の修正・追記可、必要のない項目は削除してください。*  *・妊娠・出産、育児、介護等で研究を中断していた期間があれば、その旨、記載してください。審査の際に考慮します。*  １．学歴  年　月　　　　大学　　　　　学部卒  年　月　　　　大学大学院　　　　　　　　研究科博士前期課程修了  年　月　　　　大学大学院　　　　　　　　研究科博士後期課程修了  年　月　　　　博士（　　　　）の学位取得（　　　大学）  ２．職歴  年　月  年　月 |
| 研究テーマ  （50字程度） |  |

1. **応募理由　※ 2ページ以内で記載してください。**

|  |
| --- |
| 応募理由は本賞の目的・趣旨をふまえて、「（１）研究活動」と「（２）ジェンダー平等のための活動」に分けて記載してください。選考にあたっては、創造的かつ意欲的な研究活動に加えて、賞の趣旨であるジェンダー平等の促進も重視して評価します。  （１）研究活動は、後述の「3.研究業績リスト」で◎印を付したものに絞り、専門分野が異なる審査委員にも、その学術的意義が理解できるように記載してください。また、「大学院生奨励賞」応募者は研究活動の将来性について、「奨励賞」「特別賞」応募者は研究活動の継続性・将来性及び研究の波及効果について記載してください。  （２）ジェンダー平等のための活動は、学会や学部・研究科および地域での男女共同参画推進のための活動や、自らがロールモデルとなる活動（応募者自身の研究への取組やワーク・ライフ・バランスに対する取組を後輩に示すなど）等も含みます。併せて、（１）研究活動との関連についても記載してください。 |
| （１）研究活動  （２）ジェンダー平等のための活動 |

1. **研究業績リスト（主な著書又は論文等）※ページを追加しても構いません。**

**5年以内に公表した研究成果を発表年次の新しいものから順に記載してください。**業績が共同研究等に基づく場合は、応募者の貢献度（％等）も記載してください。

このうち、自ら特に優れていると考えるものには、先頭に◎を付してください（基本1件。業績が一連の著書群、論文群として公表されている場合のみ最大3件まで）。

**a.著書**

書名、全著者名（応募者の氏名に下線）、出版社名、発行年（西暦）、応募者の貢献度（％等）、について記載してください。当てはまるものがない場合は「なし」と記載してください。

**b.学術論文**

論文名、全著者名(応募者の氏名に下線)、掲載誌名、巻、最初と最後の頁、発表年（西暦）、査読の有無、応募者の貢献度（％等）について記載してください。学術誌へ投稿中の論文を記載する場合は、掲載が決定されているものに限ります。

**c.著書・学術論文以外の業績**

国際学会発表、国内学会発表、受賞歴、翻訳や記事等、著書・学術論文以外の研究業績について、項目毎に分けて記載してください。

**4． 競争的研究費の獲得状況**

これまでに獲得した競争的研究費のうち代表的なものを応募者の貢献度と共に5件以内で記載してください。

当てはまるものがない場合は「なし」と記載してください。